



令和7年度(2025年度)中学生チャレンジテスト(3年生) 豊中市の結果概要

令和7年(2025年)12月 豊中市教育委員会

●調査の目的

- ・大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力を把握することで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育に生かす。
- ・生徒一人ひとりが、自らの学習の到達状況を正しく知ることにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- ・大阪府教育委員会は、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。

●調査の対象学年

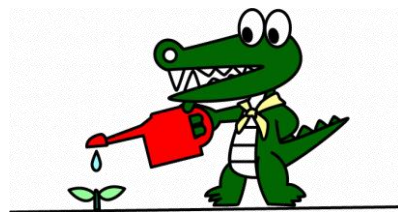
- ・府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部、府立中学校及び支援学校中学部の第3学年の生徒

●実施日

- ・令和7年(2025年)9月2日(火)
調査を実施した生徒数：豊中市 3,017人 大阪府 57,776人

●調査の内容

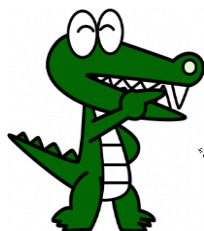
- ・国語、社会、数学、理科、英語、生徒に対するアンケート
- ・出題形式：選択式、短答式、記述式
- ・調査時間：1教科あたり45分



生徒のみなさんへ

生徒のみなさんには、自分の結果について書かれたプリントが配られていますので、この結果概要とあわせて見てください。

この調査は、学習のゴールではなくスタートです。自分自身の学校・家庭での学習を振り返り、目標を持って、これからの学習計画を立てて取り組んでください。



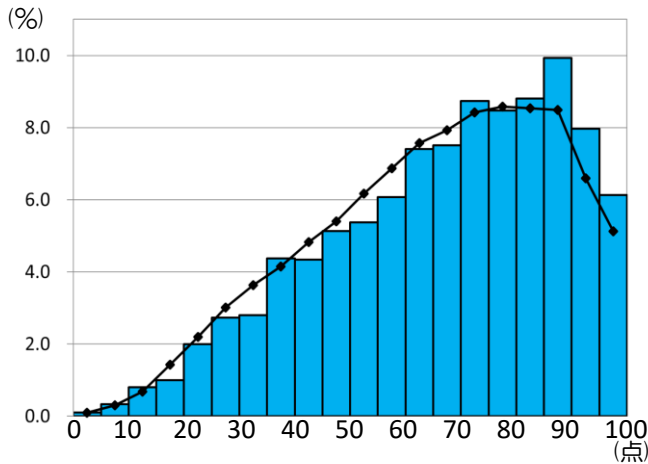
※この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

第3学年 国語

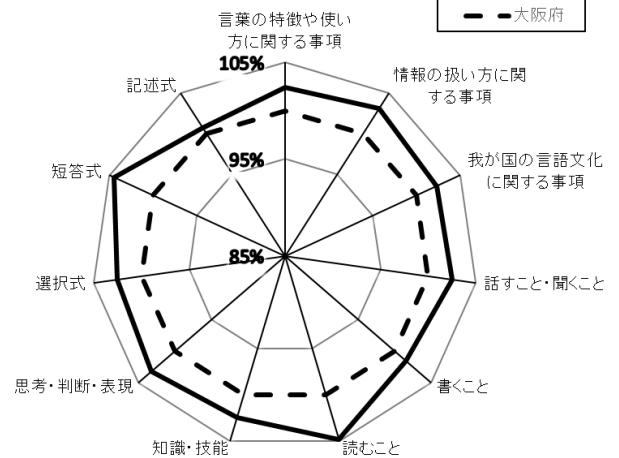
※大阪府の平均正答率を100%としています。

◆得点分布グラフ

■豊中市 ◆大阪府



◆分類・区分別平均正答率(国語)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

- 文脈に即して漢字を正しく読み書きすることについて概ね良好です。
- 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解することについて概ね良好です。
- 情報と情報との関係を理解することについて課題があります。
- 目的や意図に応じて伝えたいことを、根拠を明確にして書くことについて課題があります。

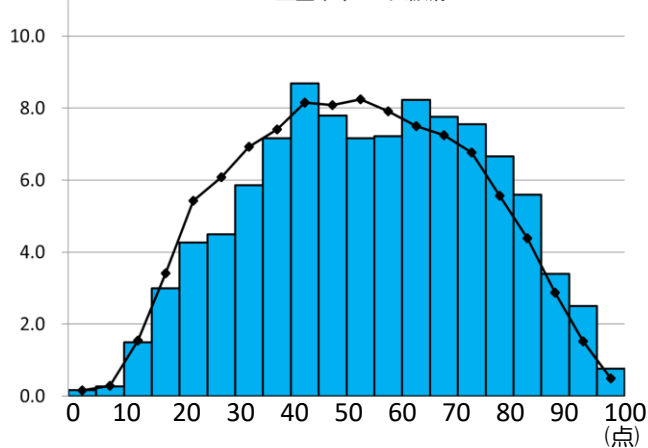


第3学年 社会

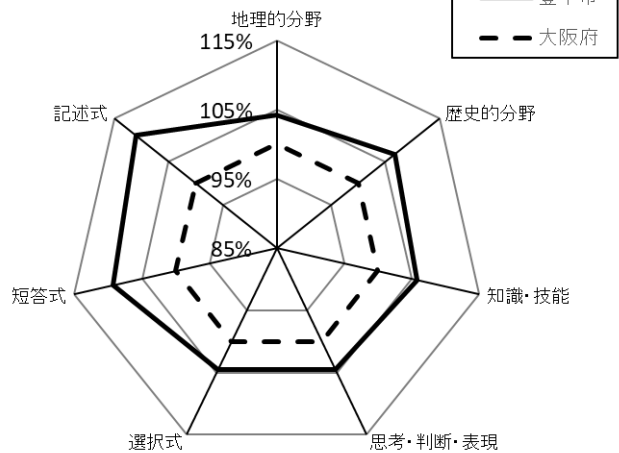
※大阪府の平均正答率を100%としています。

(%) ◆得点分布グラフ

■豊中市 ◆大阪府



◆分類・区分別平均正答率(社会)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

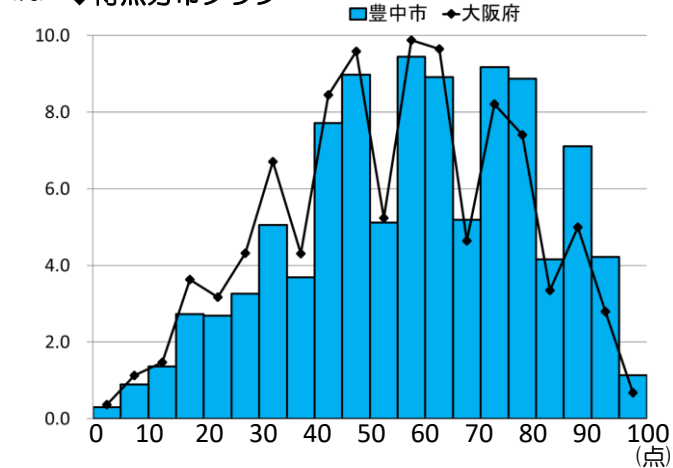
- 地理的分野において、土地の標高を地形図から読み取ることについて概ね良好です。
- 歴史的分野において、高度経済成長期のできごとの推移を考察することについて課題があります。
- 資料に示された情報をもとに考察し、説明することについて課題があります。



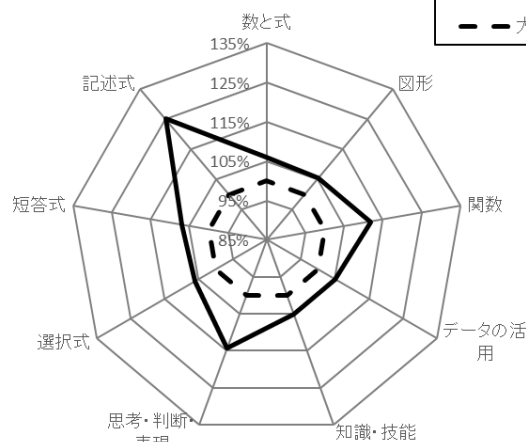
第3学年 数学

※大阪府の平均正答率を100%としています。

◆得点分布グラフ



◆分類・区別平均正答率(数学)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

- 数と式領域において、基礎的な知識・技能について概ね良好です。
- 図形領域において、空間図形を見取り図や投影図から読み取ることにについて概ね良好です。
- 関数領域において、グラフや式を活用して問題を解決することについて課題があります。
- 文字を用いた式で数量を表すことについて課題があります。



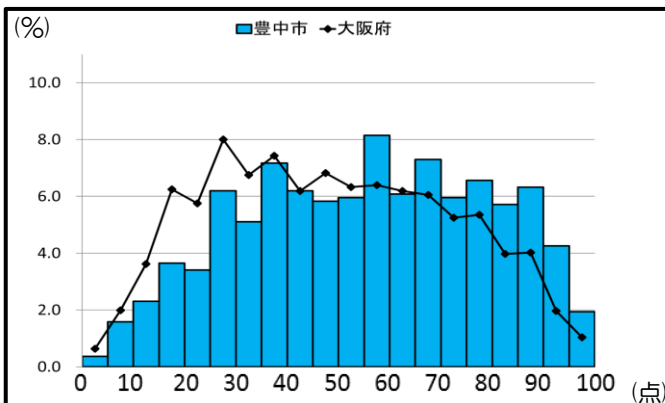
第3学年 理科

◆得点分布グラフ

※大阪府の平均正答率を100%としています。

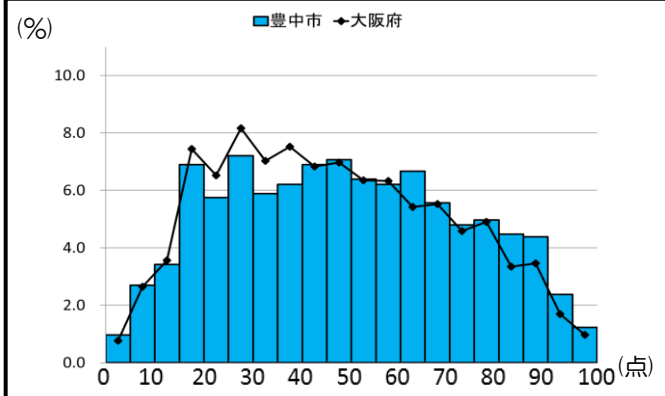
A

※学校選択問題

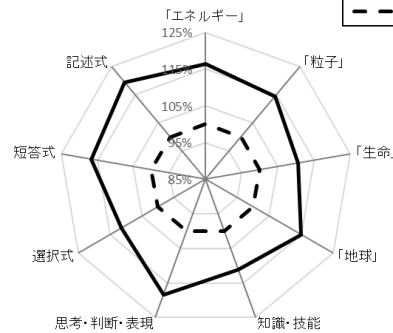


B

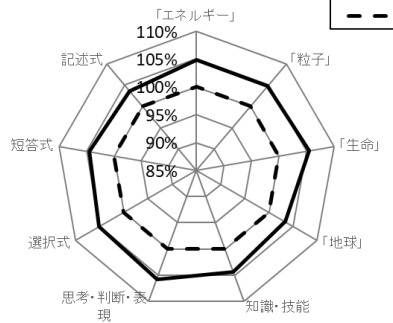
※学校選択問題



◆分類・区別平均正答率(理科A)



◆分類・区別平均正答率(理科B)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

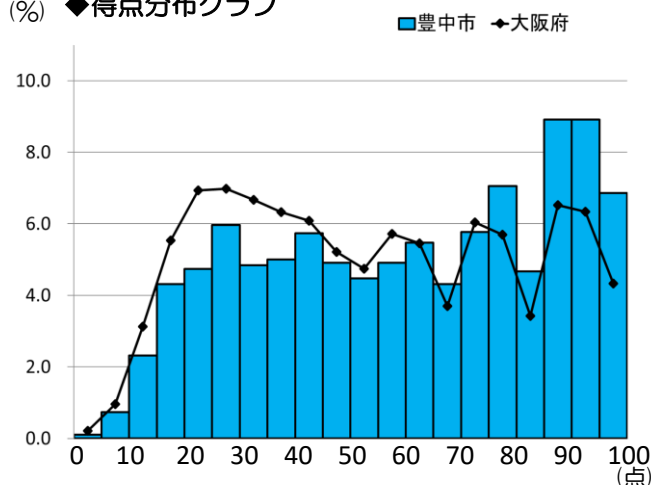
- 骨と筋肉のはたらきなどの基礎的な事項についての理解は概ね良好です。
- 溶質と溶媒の質量の関係を溶解度と関連づけて考えることに課題があります。また、水溶液の温度を下げたときに起こる現象を、溶解度曲線を用いて説明することについて課題があります。



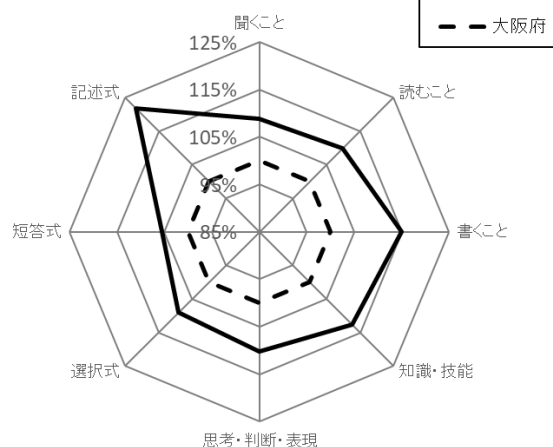
第3学年 英語

※大阪府の平均正答率を100%としています。

(%) ◆得点分布グラフ



◆分類・区分別平均正答率 (英語)



【設問別結果から見た豊中市の生徒の傾向と課題】

- 会話文の空欄に入る適切な語句を選ぶことについて概ね良好です。
- ある程度長さのある会話を聞いて、内容の要点を正確に把握することについて課題があります。
- 場面に応じた英文を書く際、現在完了進行形を用いることについて課題があります。



第3学年 生徒アンケート

※肯定的回答の割合

質問項目	第3学年	
	大阪府 (%)	豊中市 (%)
文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。	90.3	91.2
わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。	74.6	77.8
授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。	65.4	68.6
授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。(週3回以上と回答した割合)	37.1	35.2
家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。	72.0	75.5
あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。	86.2	85.4
学校などで、他の人と協力し合うことができる。	93.6	93.4
難しいことがあっても、あきらめない。	77.7	78.8
テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。	68.2	69.3
普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。(1時間以上読んでいると回答した割合)	17.4	18.9
普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。(2時間以上使用していると回答した割合)	77.9	70.0

- 多くの生徒が、重要な箇所がどこかを考えながら読んだり、わからないことを調べたりして、難しいことがあってもあきらめず、主体的に学習しようとしています。
- 家でも自分の苦手なところや必要なところを考えて勉強している生徒が多いです。
- 「テレビや新聞、インターネットでニュースを見ている」の回答結果から、社会的な出来事への関心が高い傾向にあると考えられます。

